

令和6年度福島県民俗芸能団体実態調査報告書

福島県文化振興課

【概要】

- 本実態調査は、県内の民俗芸能団体の現状や課題等の把握し支援に役立てることを目的として5年に1回を目安に実施しており、今回は令和6年9月～令和7年3月の期間において、県内の民俗芸能団体506団体に対し実施した。
- 現在の活動状況について、「活動中」もしくは「再興した」団体が7割を超える一方、令和元年度と比較すると減少しており、理由として高齢化やコロナ禍の影響等が考えられる。
- 「継承者の育成・確保」が最も大きな課題となっており、この課題への具体的な対応として、地域や性別、年齢を問わずに参加を受け入れる取組などが行われている。

1 調査目的

地域の絆を深め、地域づくりに欠かせない民俗芸能の継承支援に役立てることを目的として、民俗芸能団体の現状や課題等について実態調査を行った。

2 調査内容

県が特定非営利活動法人民俗芸能を継承するふくしまの会に委託して実施している福島県民俗芸能復興サポート事業の一環として、5年に1回を目安に実施。（前回実施：令和元年度）

（1）調査方法

保存会（保護団体）の代表、住所地の調査をした上で、実態調査票を郵送により配布、回収

（2）調査期間

令和6年9月～令和7年3月（郵送による調査、電話及び個別訪問による聞き取り調査）

（3）実態調査回収状況

	全体	会津	中通り	浜通り
発送標本数	506	114	182	210
回収標本数	270	71	111	88
回収率	53.4%	62.3%	61.0%	41.9%

※各民俗芸能団体における歴史や背景等も踏まえて調査対象を選定しており、令和元年度と発送標本数が異なる。

3 主な調査項目と結果

(1) 活動の状況（回答団体数 263、単一回答）

	全体	会津	中通り	浜通り
活動中	167 (63.5%)	55 (67.9%)	74 (68.5%)	38 (51.4%)
一時休止したが再興した	34 (12.9%)	4 (4.9%)	14 (13.0%)	16 (21.6%)
休止中	46 (17.5%)	17 (21.0%)	15 (13.9%)	14 (18.9%)
廃絶	16 (6.1%)	5 (6.2%)	5 (4.6%)	6 (8.1%)
合計	263 (100%)	81 (100%)	108 (100%)	74 (100%)

全体では、「活動中」と回答した団体が約6割と最も多く、次いで「休止中」、「一時休止したが再興した」、「廃絶」の順となっている。「活動中」と「一時休止したが再興した」を合わせると、7割を超える。

地方別に見ると、会津及び中通りでは「活動中」と回答あった団体が7割近くあるが、浜通りでは「活動中」が約5割となっている。一方で、浜通りでは「一時休止したが再興した」が2割を超える結果となった。

令和元年度調査では、「活動中」と「休止したが再興した」を合わせると8割を超えており、今回調査結果の範囲においては、活動中の団体の割合が減少する結果となった。

(2) 継承者の状況

(回答団体数 241、単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
増減はない	37 (15.4%)	16 (25.8%)	6 (6.1%)	15 (18.5%)
増えている	47 (19.5%)	9 (14.5%)	15 (15.3%)	23 (28.4%)
減っている	157 (65.1%)	37 (59.7%)	77 (78.6%)	43 (53.1%)
合計	241 (100%)	62 (100%)	98 (100%)	81 (100%)

全体では「減っている」と回答した団体が6割を超え最も多く、次いで「増えている」、「増減はない」の順となっている。

3地方ともに「減っている」と回答した団体が5割を超えており、継承者減少の深刻な状況が続いている一方、浜通りにおいては「増えている」と回答した団体が約3割となっている。

なお、令和元年度調査においても、「減っている」と回答した団体の割合は、3地方いずれも5割を超える結果となっている。

(3) 後継者育成・確保のために努力していること、工夫していること

(回答団体数 241, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
学校との連携 (授業、クラブ活動等)	53 (11.9%)	18 (14.0%)	21 (12.1%)	14 (9.7%)
学校や他団体 (NPO 等) 等の支援受け入れ	9 (2.0%)	1 (0.8%)	4 (2.3%)	4 (2.8%)
地域住民以外の参加 受け入れ	87 (19.5%)	25 (19.4%)	35 (20.2%)	27 (18.8%)
性別を問わず参加 受け入れ	97 (21.7%)	29 (22.5%)	37 (21.4%)	31 (21.5%)
年齢制限の撤廃	37 (8.3%)	11 (8.5%)	11 (6.4%)	15 (10.4%)
芸能の積極的な公開と 啓蒙	41 (9.2%)	14 (10.9%)	17 (9.8%)	10 (6.9%)
インターネット、SNS 等を活用した情報発信	20 (4.5%)	7 (5.4%)	6 (3.5%)	7 (4.9%)
特に行っていない	66 (14.8%)	19 (14.7%)	24 (13.9%)	23 (16.0%)
その他	36 (8.1%)	5 (3.9%)	18 (10.4%)	13 (9.0%)
合計	446 (100%)	129 (100%)	173 (100%)	144 (100%)

全体、地方別いずれで見ても「性別問わず参加受け入れ」と回答した団体の割合が約2割と最も多く、次いで「地域住民以外の参加受け入れ」、「特に行っていない」、「学校との連携（授業やクラブ活動等）」の順となっている。

令和元年度調査においても同様の状況である。

(4) 保存会(保護団体)としての課題

(回答団体数 235, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
継承者の育成・確保	212 (22.3%)	52 (19.9%)	90 (21.6%)	70 (25.6%)
指導者の育成	92 (9.7%)	24 (9.2%)	46 (11.0%)	22 (8.1%)
奉納・披露の機会の確保	29 (3.0%)	13 (5.0%)	9 (2.2%)	7 (2.6%)
観客の増加	32 (3.4%)	10 (3.8%)	18 (4.3%)	4 (1.5%)
活動資金の確保	99 (10.4%)	26 (10.0%)	43 (10.3%)	30 (11.0%)
道具類の修理・新調	92 (9.7%)	28 (10.7%)	43 (10.3%)	21 (7.7%)
道具類の保管場所の確保	31 (3.3%)	10 (3.8%)	15 (3.6%)	6 (2.2%)
練習場所の確保	15 (1.6%)	7 (2.7%)	2 (0.5%)	6 (2.2%)
信仰心や郷土意識の向上	67 (7.0%)	15 (5.7%)	35 (8.4%)	17 (6.2%)
練習や活動時間の確保	36 (3.8%)	8 (3.1%)	16 (3.8%)	12 (4.4%)
会員以外の地元住民の参加・協力	75 (7.9%)	18 (6.9%)	31 (7.4%)	26 (9.5%)
女性の参加	34 (3.6%)	11 (4.2%)	12 (2.9%)	11 (4.0%)
他地区からの参加	55 (5.8%)	16 (6.1%)	19 (4.6%)	20 (7.3%)
他団体との連携	25 (2.6%)	10 (3.8%)	10 (2.4%)	5 (1.8%)
学校との連携	45 (4.7%)	10 (3.8%)	21 (5.0%)	14 (5.1%)
その他	12 (1.3%)	3 (1.1%)	7 (1.7%)	2 (0.7%)
合計	951 (100%)	261 (100%)	417 (100%)	273 (100%)

全体では「継承者の育成・確保」と回答した団体が約2割と最も多く、次いで「活動資金の確保」となり、「指導者の育成」及び「道具類の修理・新調」が同率と続いている。

地方別に見ても、「継承者の育成・確保」と回答した団体の割合が最も多く、これは、令和元年度調査と同様の状況であり、継承者が減少する中でどう確保・育成するのか課題である。